

平成22年7月 (2010年) No.535

OMC第50回記念映像フェスティバル 資金カンパのお願い

会長 合原一夫

今年は10月17日(日曜日)の午後に、かつて小型映画発表会の殿堂であった朝日生命ホールで、記念すべき50回目の発表会を開催することにしております。従来の公営会場では夜間に借りられませんので、午後4時半過ぎに終了しなければならず、心ならずも本数を絞らざるを得ない事情がありました。これが民間の会場ですと5時を過ぎても会場費さえ払えば時間的に余裕が出てきます。50周年記念ということで司会やスピーチの時間も十分に確保して、しかも多くの方に作品上映して頂ける様に計画を進めてまいります。プログラムも今まではA4版の色紙に裏表1色刷り三つ折で定型封筒にてすませてきたのですが、この見直しも考えております。以上のような計画を実施するには従来以上の経費がかかります。この経費につきましては、出品料と一部一般会計の繰越金の取り崩しの他会員の皆様からの任意のカンパをお願いしたいと考えております。

■出品料は昨年同様です。: 10分以内は8,000円、10分を越す作品は1分増すごとに1,000円アップとなります。9月例会日迄に会計へどうぞ。

■カンパは原則として1口5,000円とし、何口でも歓迎しますが、それより下の金額でも結構です。できれば封筒に入れて(記名、匿名いずれでも結構です)9月例会までに会計へお渡し頂ければと思います。無理のない範囲でお願いします。

7月例会のお知らせ

7月例会は24日(第4土曜日)午後6時より、いつもの難波市民学習センターにて行います。外は真夏日で暑い盛りと思いますが、会場は冷房が効いていますので上衣など欲しいところです。月1回の楽しい例会と2次会を大いに楽しみましょう。作品の方もどうぞ。

■撮影会作品公開コンテスト: 7月第3土曜17日午後1時半より例会場にて行います。撮影に行かなかった人もどうぞご出席を。

■プログラム編成会議: 同上の夕方6時より開催します。幹事の方はご出席ください。

撮影会作品編集進んでいますか

去る5月15日～16日に行われた大井川鉄道とその周辺撮影会作品の編集の方は進んでいますか。まだ日にちがあると思ってあとまわしにしていますと、後で時間切れになってあわてることのないよう早めにまとめて下さい。よくパソコンのトラブルで結局間に合わなかったとか無いように祈ります。参加された方はぜひ作品にして披露してください。せっかく撮影した映像ですから作品に仕上げて見せて下さい。

今回は4班に別れて撮影されたので、内容はいろいろと変わっていると思いますので今から楽しみです。

6月例会のレポート

今年の梅雨は雨が多く、パッと晴れた日が少なくうっとうしい日が続きました。もっとも雨でも撮影チャンスと出掛けるご熱心な方も居られますが、やはり写欲も今ひとつ湧きませんね。例会日の26日も朝からしとしと雨の日でした。それでも開会前には28名の会員さんと16本の作品が出て司会者も大忙がしの盛会となりました。

50回記念映写会の締切りが今月までの作品からということもあってか、発表会へ向けての良い作品が多くありました。

今月の司会は有村氏、書記、合原氏、上映担当、河合、藤原、江村の各氏、受付兼照明係は宮崎、華岡の両氏の担当で進行了ました。

■出席者：有村、井上、岩井、上田、江村、岡本、上総、蟹江、紙本、河合、河口、黒田、合原、進藤、関、玉井、対馬、錦、西村、華岡、藤原、前田、宮井、宮崎、森口、山本、吉岡、渡辺の28氏（敬称略）。

■上映作品（今月の講評は合原会長です。）

1. 美濃16宿・その2 (WIDE)

紙本 勝さん 12分45秒

お元気の紙本さん、新シリーズは「中山道ぶらり旅」で、今回は赤坂宿～美江寺宿から河渡宿へ至るルートを歩いて来られました。途中「赤坂宿まつり」があり皇女和宮一行が江戸下りをする行列が華やかに行われていて眼を楽しませて頂きました。

この後、農家の人が柿の手入れをしてい

るところへインタビューされたり、昼食のお弁当を食べるシーンなど、ご自分もはいつの撮影ぶりに、いつもながら感心しております。どうか、いつまでもお元気で楽しい作品を見せて下さい。

2. 岩木山・お山参詣 (WIDE)

対馬 昭さん 7分30秒

メインタイトルから、すぐに右から左への文字が走り抜け（スクロール）、充分頭に入らないうちに消えてしまいました。タイトルぐらいは落ちついてゆっくりと見せてほしいものです。またメインタイトルの次には制作者名も忘れずに入れて下さい。

解説もほとんど右から左へのスクロールでしたが、動く文字は、見る方からすれば文字を読むのに勢一杯で画面の方はよく見えていません。このように文字数が多いテロップは避けて、ナレーションで考えた方がいいと思います。岩木山というのは割と知られた山ではありますが、どこにあるのかわからない方も多いと思いますので〇〇県△△市にある、この地方ではよく知られた山です。といった説明がほしいところです。略図をWせるというテもあるでしょう。撮影、編集は落ちついてよく撮られておりますが、ロングカットの間にアップのカットを挿入して変化をつけたいものです。

また、最後が尻切れトンボで余韻もありませんので、めりはりのある編集とラストカットの使い方をもう少し勉強してください。

3. 伝統を受け継ぐ菅細工（予告編・W）

岡本至弘さん 5分00秒

岡本さんは、地元東大阪の深江で菅草（スゲグサ）から菅笠を作っていた江戸時代からの伝統の技が最近復活されたのを機に、その記録を追っかけられています。「菅」と書かれれば誰でも「かん」と発音してしまふ現代において「菅」を「すげ」と読ませることからして話を進めないといけないので、作品の意図、ねらいをどう構成するかが作品完成への課題となるでしょう。いづれにしても珍しい題材ですので、立派な作品になると思います。ぜひ頑張ってまとめて下さい。

4. 戦国武将集結 (HDV)

吉岡貞夫さん 14分40秒

いやはや恐れ入ってござる、といったところでしょうか。これだけ大がかりな祭を撮影しようとするれば、場所取りからカメラの移動など大変なご苦労があったと思われます。しかも良い場所から撮られており現場音もしっかり録られています。その現場音が効果をあげていたと思います。

上杉謙信の軍団と武田信玄の軍団とが、川中島の合戦で相まみえるときの出陣式の様子が雰囲気として伝わってきます。合戦そのものはNHK大河ドラマに出てくる様な迫力は望むべくもありませんが、市民の方々が楽しく演じておられるようで、市の年一度の大きな祭りにかける意気込みが伝わってきます。

5. 京都観光 2日間 (HDV)

有村 博さん 11分20秒

トップシーンは京都タワーよりの市内展望で、現在の市街状況が紹介されます。続いて高台寺の風景が出てテロップで「京都タワーホテルに泊まった私達ビデオ仲間は観光バスで京都観光に出掛けました」と説明があります。高台寺では坂本龍馬の像や墓もありました。伏見の寺田屋、酒蔵、宇治の三室戸寺、平等院、宇治上神社など季節感を滲ませながら観光地を描いておられます。最後に川床で舞子さんが登場し、ビデオ仲間が出てまいります。こういうビデオ仲間の姿を出すのなら観光地でビデオを撮りながら楽しんでおられる仲間の姿も採り入れた構成を考えた方が、最後のテロップの意味が理解できて良かったのではと思いました。全国からいらしたビデオ仲間たちとの楽しい交流、皆さん満足して帰られたのではないかと思います。

6. 3Dシェーンブルン宮殿 (3D)

井上勝彦さん 8分22秒

劇場映画でも3Dが評判を得ており、テレビも3D対応が出回ろうとして話題性充分です。アマチュア映像の世界ではまだどこも3D作品上映の話は聞かないので、もしOMC発表会で井上さんの3D作品を登場させたら話題性充分ではないかと思えます。もっとも観客全員の分の眼鏡を用意しなければならぬという課題があり頭の痛

いところですよ。パソコン持参で上映された井上さんには、3D作品見せて頂き有難うございました。発表会にはご協力をお願いするかも知れませんが、その際にはよろしくお願いいたします。

7. よさこい2009 (HDV)

江村一郎さん 7分30秒

江村さんのよさこいシリーズは、毎年撮影されているのでさすが手慣れた撮影と編集のコツを掴まれており、安心して拝見できます。今回は特殊効果としてタイトルバックの電車から見た市内の風景とラストの方のカットに残像やスローモーション等で表現されています。新鮮な驚きもあって良いのですが少し多すぎる気がします。ここところどころに絞って使われた方がより強烈な印象が残っていいと思いますが・・・。

それにしてもパソコンソフトで何でもありの技術が出てきたものですね。

8. キューケンホフ公園 (HDV)

蟹江利一さん 8分30秒

オランダのキューケンホフ公園にて行われたチューリップを主体とした花のテーマパークに行ってこられたときの記録です。

なるほど珍しい色や形をしたチューリップの美しい花がたくさん出てきて私たちの眼を楽しませて頂きました。楽しく思い出に残る旅になったことと思います。

9. 春を呼ぶランナー (HDV)

宮井 健さん 7分10秒

例年行われている泉州国際マラソンの記録です。途中、だんじり太鼓が元気づけをしたり、給水所で3杯も水を飲んでいる人、チョコレートあげている人など、見て楽しい場面もありました。ですが出発からゴールまでの長距離であることから、出発のところは撮影できても途中で撮り、ゴールのところも撮影するとなると一人では無理のようですね、何人かで組んで撮影すれば結構いい作品が出来そうな気がいたします。ご苦労様でした。

10. イグアスの滝 (HDV)

華岡 汪さん 9分50秒

世界最大の水量を誇りブラジル側とアルゼンチン側にまたがって存在する大きな滝イグアスの滝へ行って来られました。壮大

なる滝をいろんな角度から見せて頂き、私たちも実際に行って来たような雰囲気になってきました。ハチドリやカピパラ等の珍しい鳥や動物なども撮影されていて、世界自然遺産らしい作品でした。遠いところまで出掛けられ、お元気で楽しんで来られてよかったですね。

11. 毎日がフェスタ (HDV)

山本正夢さん 8分20秒

スペインの東側にあるリゾートの島イビザ島の一日を描いておられます。イビザ島のスタイルは、昼に起床、午後はビーチで過ごし、夜は華やかなクラブで楽しみ、寝るのは早朝、というまるで別世界の夏のバカンスの過ごし方で、これらをテンポよくまとめられています。最後に一言、「あ～あ、とてもついていけません！」の字幕は効果がありましたね。いずれにしても楽しい作品でした。

12. 長滝の延年花奪い (HDV)

河合源七郎さん 9分09秒

河合さんはいつも地方の変わった祭りや行事を撮られてきて私たちを楽しませて頂いています。今回も白山長滝神社で冬に行われる「長滝の延年花奪い」という祭を撮ってこられました。「花奪い」と書いて「はなばい」と呼ぶそうです。神事後、若者たちが天井高く取りつけられた5つの花笠を人柱を立てて奪い取るところから「花奪い」と呼ぶようです。奪い取っている騒ぎの傍らに、たんたんと他の行事も併行して行われるということで、この辺りが変わった祭なのでしょう。2回行って撮って来られたそうで、お元気で旅と撮影を楽しんで居られる作者には敬服するばかりです。

13. 「わ」は力なり (HDV)

進藤信男 9分55秒

先月上映された同名の作品を、ほかの人の意見を参考に再構成して作りなおされた作品です。前作は少し詰め込みすぎて内容に余裕がなく散漫な印象しか残りませんでしたが、今回は少しめりはりを付け訴えたいところに力点を置いてまとめられましたので、第三者が見ても判り易く共感できるものがあります。良い記録作品に仕上が

ったと思います。

14. 余部に稲刈りの季節が訪れて (HDV)

前田茂夫さん 8分30秒

2008年9月撮影とのことで、まだ余部鉄橋の本格的架け替え工事の前の映像で、現在はもうこうした風景は一変していることでしょうか。そういった意味で貴重な映像といえます。

最初に鉄道好きな作者だけに余部駅や鉄橋を渡る列車の映像が数カットも続きます。そして鉄橋をバックに稲穂が稔る田園風景となり、コンバインによる一家総出の取り入れ風景が続きます。8分30秒という作品の長さは決して長いものではありませんが、何故か長く感じてしまいます。それはコンバインという機械の動くカットが多過ぎるからではないかと思いました。子供さんがいたので、むしろ子供さんの遊ぶ姿をもっと採り入れて変化をつけられたら、もっと印象に残った筈です。また、この題名であればトップの列車のカットも作品のねらいからして多すぎないように思え、もっと別のカットと入れ換えられたら作品の印象も良くなったのではないかと思います。15. トンド祭 (HDV)

合原一夫さん 15分15秒

久方ぶりの出品です。千里中央に近い古くからの住宅街で江戸時代から続いている「とんど祭」を密着取材して作品にしたものです。伝統ある行事を守り伝えていくことの苦勞が伝わればと思います。

16. Time Slip 40年 (HDV)

玉井 勻さん 7分05秒

サブタイトルに「大阪万博の思い出」とありました。滋賀県からはるばる大阪万博記念公園へ出掛けられて撮影されました。

あれからもう40年にもなるのですね。それだけ私たちも年をとったということで感慨深いものがあります。玉井さんも太陽の塔を見て花畑を歩きながら当時を思い浮かべられたのでしょうか。三波春雄のコンニチワの歌に当時の資料映像（ご自分で撮られたテレシネ？）が不鮮明なのが惜しいです。

以上、9時を少し過ぎたところで盛会裡に例会を終り、2次会へと席を移しました。